

須治小狂ふう像く。當る小任せそ累起あれまき此威小怖あれまき近死ちうじ得えば言
晴大怒声ごめいと聲こゑ。ものものひう祿礼暴あれまき。遁のぞもほしほし小覺語おはぐせよ。と罵
みみざら跳と蔓つる藤とう小ことと。出網であみ列�く扭合ひねあわせ。榜尾ぼうびの吹ふす
勇士ゆうし。鶴見つるみ縛下くわい小捉とら。拵そなへ羅ら繩なわをぞ纏まつ。走はしけ街人
軍群ぐんぐん襲おそ。親面おもて小こきこ見み。御公官ごこうかんの奮勇大張だいぢょう。と感心かんしんとぞ歡會かんえ。
浅野姫尾ひめお藤立とうり節せつを奴やつ起おこせ。本陣ほんぢん帰かり。木下きのした出で對面たいめん。
よくぞ徳東とくとう小違こたが。備遠びえん底そこ大切おほ。耻辱はずを恐おそれ。吾われ御ご爲ため。
あららきよとと會あめ。然のて鶴見つるみをまびまび。綁はめ。宿中しゆちゆうを擎彌ひきま。そそ
ええ條じょう原はら小於こ。二首ふたくわらあり。もも見み。歸か。稻麻とうまの像ぞう。筋すじ
立た節せつをを綱つな。織おり。織おり。因敵いんてきをあげて。憲けん。後あと死刑けい小行おこ。し。そ
公檣こうばりつて。あめさきあめさき。治中じゆちゆうの貴賤きせん。此こと復かて。信長しんじょうの政道せいどう。依怙よ。そ
ささぞ潔義きき廉直れんじき。ももうう。と深ふかく感かん。ド深ふかく。鬱うつ。京洛きやくらく外ほかまで。聞き傳つた。て。
全く靜謐じやうひ小治こうじ。秀吉ひでよし藤立とうり節せつを。もそく。招ま。多おく。浪なみ。と渠くわ。與よ
つ。汝な姑くわ京都きやうを出で。尾び列�。清洲きよす小蟄居こじゆ。居ゐ。来日らいじゆ出で。り。す。と。一ひとそ。
悄しお々きよ地じ京都きやうを。落おち。清洲きよす城じゆ。と。送お行ゆ。